ふるさとへの思いと絆をつなぐ広報誌

平成27年5月20日発行（毎月1回20日発行）

ふるさとだより

久之浜・大久、四倉、平、小名浜、勿来

2015年 May 5
NO.48

Pick up 活気溢れる！各地の例大祭

小名浜

３日に行われた小名浜諏訪神社例大祭で、威勢よく渡御する本神輿の前を歩く、わかぎ幼稚園の年長組37名。諏訪神社から本町通りを通り、割烹一平大駐車場まで向かいました。稚児の衣装に身を包んだ園児の可愛らしい姿に、地域の方たちも笑顔を見せていました。

久之浜大久

久之浜防災緑地植樹祭
諏訪神社合同神幸祭

四倉

四倉の諏訪神社で例大祭
四倉小で運動会開催

平

3地区で復興願う例大祭
旧豊間中学校舎解体へ

勿来

うえだ商店会の活動
吹風殿でライブイベント

ふるさとだよりの記事が動画で!!

マークのある記事にスマホやタブレットをかざすと動画が見られます！(見方はP11)

街を守る木々を自分たちの手で

久之浜防災緑地植樹祭

昨年9月に始まった防災緑地の盛土工事。日々工事が進む4月11日、第1回久之浜防災緑地植樹祭が行われ、350名が参加しました。クロマツやスダジイなど11種二千本の苗木は、被災地支援の一環として津波被災沿岸部での植樹を続けるイオン株式会社から提供を受けました。

植樹祭には地区住民、10年先、20年先の防災緑地の育成管理に実際に携わることになるであろう久之浜一小、二小、久之浜中の児童生徒らも参加。雨に濡れながら懸命に一本一本苗木を植える姿が見られました。

完成すれば、長さ1・3㎞、面積11・2ha（東京ドームおよそ2個半分）にもなる広大な防災緑地。木々が成長し、緑地が持つ本当の効果を発揮できるようになるまで数十年かかると言われています。未来の久之浜の街の安心安全のため、そして震災の記憶を伝えるため。息の長い活動の第一歩となる植樹祭でした。

工事の進捗状況に合わせ、植樹も続けられています

久之浜らしさを考えた常緑樹と落葉樹11種が植えられました

海岸堤防より高い海抜8.2m。雨でぬかるむ斜面の植樹は一苦労

津波避難場所ガイド

- 市営住宅久之浜東団地（津波避難ビル）
  - 住所／久之浜町久之浜字川田23
  - 7階、8階建
- 立地区高台（津波避難場所）
  - 住所／久之浜町久之浜字立、館ノ山地内
  - 面積／2618㎡
  - 海抜／22m

ふるさと歳時記　諏訪神社合同神幸祭

5月4日、晴天に恵まれた久之浜諏訪神社の例大祭。「わっしょい！わっしょい！」神輿を担ぐ男たちの太く勇壮な掛け声、そして子どもたちのかわいい元気な掛け声が久之浜の町内に響き渡りました。6基の神輿が繰り出し行われた合同神幸祭。神社前には金魚すくいなどの屋台も立ち並び賑わいを見せていました。

子ども神輿に沿道のギャラリーも大興奮

神輿が復興進むふるさとを練り歩きました

CHECK! 動画が見られます！

復興へ向けた動き

海岸堤防工事と県道久之浜港線

久之浜地内で進行中の海岸堤防かさ上げ工事。全長2．1kmのうち大久川河口からの南部分が完成し、1．1kmが海抜7．2mの高さでつながりました。残り1kmの早期完成を目指します。

また、国道から漁港への県道久之浜港線は、蔭磯橋の架け替えを含めた道路整備が進められます。今後は土地区画整理区域内の造成工事と合わせながら道路の盛土工事を実施。新たな蔭磯橋の高さは現在より約5m上がります。橋の下部工工事は6月頃より着手され、早期完成に向け整備が進められます。

現在の陰磯橋。完成すれば風景も一変することでしょう

津守神社からの久之浜。真っ白い堤防が伸びています

古の楽器と潮騒の競演

コンサート 久之浜町へ 鎮魂と祈り

震災後、故郷いわきに思いを寄せる音楽家や舞踏家などにより結成された「いわきフレンズ」。

4月11日、メンバーの一人である鍵盤楽器奏者大塚直哉東京藝術大学准教授が、アリオスでのいわきフレンズ体験工房「むかしの鍵盤楽器にふれてみよう！」で講師を務め、演奏を行いました。翌12日は「久之浜町へ　鎮魂と祈り」と題した屋外コンサートを開催。春の日差しとさわやかな潮風が吹く、海岸堤防近くの会場に約70名が訪れ、大塚さんが弾くチェンバロなどの古典楽器の調べに耳を傾けました。

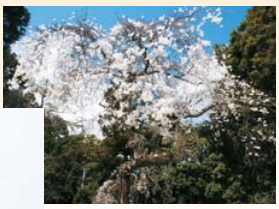
チェンバロやグラビコードの優しい調べが聞く人の疲れも癒すようです

CHECK! 動画が見られます！

春本番　久之浜・大久

久之浜・大久 故郷の桜 そして海と山の交流続く石川町の桜

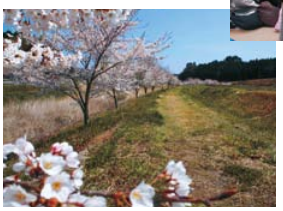
宝林寺



筒木原不動尊

故郷の春を彩った桜も見頃を過ぎた4月19日、地域づくり協議会が石川町さくらまつりを視察しました

CHECK! 動画が見られます！



小久川

海竜の里センター

春の味を召し上がれ

4月26日、晴天に恵まれた浜風商店街。市原市有志の会（藤田和利会長）が運んだ朝堀りの竹の子を求めて、約250名が列を作りました。

竹の子1本100円。久之浜町婦人会の皆さんもおにぎりや若竹汁を作りおもてなしのお手伝い

CHECK! 動画が見られます！

5月4日開催

四倉地区 例大祭 特集

四倉諏訪神社

安波大杉神社、出羽神社の神輿はトラックによる渡御だったものの、諏訪神社の神輿や女御輿、四倉剣友会の神輿など5基が勇壮に町内を練り歩きました。

今年は初めて神社の三基の神輿が、災害公営住宅の四倉南団地まで渡御し、住民のみなさんを喜ばせました。

また女御輿には震災復興支援ボランティアとして、女子プロレスラー三名が参加して渡御を盛り上げました。

迫力満点の諏訪神社の本神輿には、大歓声が上がりました

CHECK! 動画が見られます!

掛け声も高らかに町内を練り歩く女御輿の担ぎ手たち

上仁井田諏訪神社

本神輿はトラックに載せての渡御でしたが、色とりどりの法被を着た小中学生達が、上仁井田各地区の子ども神輿4基を担いで、勇ましく地域を練り歩きました。

渡御の途中には、特別養護老人ホーム楽寿荘にも立ち寄りました。勇壮なお神輿と子ども達の元気な掛け声が、施設を利用しているお年寄りの目を楽しませ、元気づけていました。

「ワッショイワッショイ」と元気に練り歩く子ども達

CHECK! 動画が見られます!

下仁井田諏訪神社

朝6時に神社を出発した子ども神輿が、約60軒の家々を回りました。

今年から揃いの法被に身を包んだ小中学生約30名は、神輿を担いで「ワッショイワッショイ」と元気いっぱいに渡御。

「やはり法被があると、お祭りらしくていいね」と神輿を見守っていた住民も、目を細めていました。

真新しい法被を着て、例年以上に気合が入った子ども神輿

CHECK! 動画が見られます!

紅組も白組も頑張りました

四倉小学校で4月25日、春季大運動会が開かれ、約300名の児童が参加しました。

今年は校舎の耐震化工事中のために、例年よりも校庭が狭く、限られたスペースでの開催でしたが、児童たちは元気いっぱいにかけっこや綱引き、玉入れなどの種目に挑みました。

3、4年生による「よつくらハリケーン」

120m走でゴールを目指す6年生

万が一に備えて津波避難訓練

5月1日、四倉小学校と四倉第一幼稚園が合同で、津波を想定した避難訓練を実施しました。

約360名の児童と園児が参加して、同小校庭から四ツ倉駅近くの高台にある海嶽寺まで、約1・5㎞の道のりを歩いて避難。

訓練終了後、鈴木洋一校長が、「四倉は海に近いので、地震が起きたらすぐに津波のことを考えて欲しい」と児童らに呼びかけました。

6年生の女子と手をつないで避難する園児たち

復興へ向けた動き

境川の水門工事について

市河川課では、道の駅よつくら港と四倉海水浴場の間を流れる境川に、水門の整備を進めています。

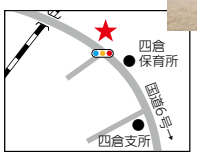
津波が発生した時に、海水が川を逆流して市街地に流れ込むのを防ぐのが目的です。

ローラゲート式の水門の高さは、県が整備している防潮堤や四倉漁港内堤防と同じ海抜7・2m。開閉するゲート部分は、幅10・3m、高さは2・8mとなっています。

水門の建設工事を予定している境川

津波避難場所ガイド

●県立四倉高等学校校庭



●住所／四倉町字五丁目4
●面積／14.040㎡
●海抜／5.0m

●大浦小学校校庭

●住所／四倉町狐塚字松橋20
●面積／5.478㎡
●海抜／3.6m

ふくまる1周年にAKB48が登場

4月26日、道の駅よつくら港に隣接する〈チャイルドハウスふくまる〉がオープン1周年を迎えて、記念イベントが開かれました。

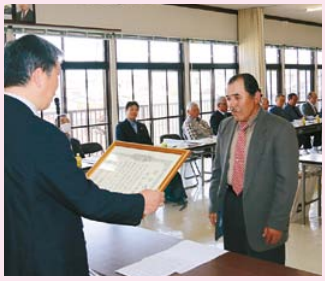
来場した子ども達に風船が配られたほか、サプライズゲストとして、人気アイドルグループAKB48のメンバー6名が登場。

子ども達と一緒に「恋するフォーチュンクッキー」を踊ったり、ジャンケン大会や記念写真を撮るなどして、交流を深めました。

人気アイドルの登場に子ども達も大喜び

四倉ピックアップ

事業計画などを可決



在職3年以上の退任者に市長感謝状などを贈呈

4月24日、四倉地区行政嘱託員(区長)協議会の平成27年度の総会が開かれ、事業計画案や収支予算案を可決し、新役員を承認しました。

いきいきサロン開始

シルバーリハビリ体操で体を動かす参加者

4月9日、市社協四倉地区協議会が主催する、11区から15区のおおむね65歳以上の方が対象の「新町いきいきサロン」が始まりました。

集会所で親睦深める

真新しい集会所でアクセサリー作りをしました

4月25日、災害公営住宅四倉南団地の集会所で、アクセサリー作り教室が開かれました。市社協主催による同集会所での行事は、今回初です。

道の駅が200万人

記念品と花束を受け取る大場さん夫妻

4月11日、道の駅よつくら港の来館者数が200万人を達成。節目の来館者となった四倉町在住の大場さん夫妻に、記念品が贈られました。

地域の風物詩

豊間・薄磯・沼ノ内 春の例大祭特集

5月4日、3地区で春の例大祭が行われました。豊間では諏訪神社と稲荷神社、薄磯では薄井神社と安波神社、沼の内では諏訪神社。神輿が練り歩き、賑やかな初夏の1日でした。

豊間団地を行く神輿。この後、団地内を担いで練り歩きました

諏訪神社からトラックに載せて出発しました

CHECK! 動画が見られます!

雲雀乃苑前で神輿を揉むと観光客から歓声が上がりました

公営住宅を練り歩く神輿に住民たちは昔を懐かしんでいました

弁財天の前で神輿を揉む。来年には賢沼での神輿渡御が再開される予定

諏訪神社を出発した神輿は沼ノ内団地内を練り歩き、みんなで記念撮影

教えて！ふるさと自慢 豊間地区

豊間榎町
笹川　正人さん（31歳）

Q豊間の良いところは？
両親の実家が豊間で、私も10年前から住んでいます。静かで住みやすいし、気さくな人も多いです。

Q好きな場所は？
穏やかで静かな海です。青い海と白い灯台のコントラストは最高ですね。

サーファーにも人気の海

豊間柳町
四家　正治さん（68歳）

Q豊間の良いところは？
生まれた時から豊間で育ち、小・中学校も同じ。仲間意識が強く、和気あいあいとしたところです。

Q好きな場所は？
海です！特に岩場。震災前はみんなで貝や海藻を採って食べていました。

磯遊びをした磯場

復興へ向けた動き

旧豊間中学校校舎解体を前に一般公開

4月26日、旧豊間中学校校舎で校舎解体を前に最後の一般公開が「海まち・とよま市民会議」主催で行われ、卒業生、地元住民など約530名が参加しました。

一時は市や市民会議で「震災遺構」として保存することも検討されましたが、地元住民から「見るのが辛い」などの意見が強く、住民の合意を得られませんでした。

参加した卒業生らは、1階に残る津波被害の爪跡や校舎で過ごした思い出などを心に刻みました。

新校舎は、豊間小学校校舎西側に平成28年度中の開校を目指して建設中です。

校舎屋上から変わり行くふるさとを眺める卒業生家族たち

自分たちが書き残した黒板を見て当時の思い出を話す卒業生

5月から解体が始まり、年内には工事が終了する豊間中学校校舎

津波避難場所ガイド

●神谷作公民館

●住所／平神谷作字古屋敷30
●面積／100㎡
●海抜／6.1m

平地区ピックアップ

とよマルシェでセール

5月9日、復興商店とよマルシェで「丼と来いセール」が開催され、全店舗でセール商品が並びました。また豊間区主催のビンゴゲーム、「花音」のライブショーなどで会場が賑わいました。

日曜市の時から出演している「花音」。会場を沸かせました

地域の繋がり今年も

5月4日、今年移設された豊間地区と平菅波の大国魂神社の繋がりを示す石碑の前で神輿渡御式が行われました。昨年に引き続き海への渡御は見送られ、関係者は再開を待ち望んでいました。

菅波地区から沼ノ内、薄磯を通り豊間まで渡御する神輿

豊間稲荷神社で神輿引渡し

4月18日、豊間・妙石稲荷神社で約1年間かけて直された神輿の引渡しが行われました。遠藤守俊豊間区長は「地域住民の気持ちを一つに出来るのが祭りの良いところ」と話していました。

小川町の「福住」で直した神輿を稲荷神社まで担ぐ住民たち

小名浜 元気めぐり 5月の例大祭特集

3日

小名浜諏訪神社

海色をした鳥居から本神輿や子ども神輿が出てきました。本神輿を担ぐのは氏子やみこしをかつぐ会などの方たち。わかぎ幼稚園の年長組も稚児行列を披露し、華やかな神輿渡御でした。

〈タウンモール・リスポ〉で道饗祭が行われ、県鳶土木工業連合会が梯子乗など奉納。小名川祐輝宮司代務者が6本の矢を放ち邪気払いし、白扇がまかれました。

新しい魚市場で本神輿から喧嘩神輿に交換し、渡御しました

CHECK! 動画が見られます!

中之作諏訪神社

海上安全や交通安全、健康祈願を願い、本神輿が車輦し、のぼりを持った子どもたちが中之作区を練り歩きました。案内人の天狗は6年生の木村伊央利くん、おかめは高校1年生の新堀美賢さん。新堀さんは「受け継ぐ女の子もいないけど、自分は子どもが好きだから続けています。なにより町のためになりたい」と、話していました。

町の人たちに見守られながら、楽しんで練り歩いていました

4日

折戸根渡神社

折戸長寿会や折戸ふるさとを守る会、子ども会のみなさんが練り歩きました。「わっしょい、わっしょい」と元気よく神輿を綱で引っ張る子どもたち。お囃子も子どもたちが行いました。折戸長寿会のみなさんは大漁旗で作った法被などを着用。同会会長の遠藤勇一さんは「故郷を守るため、子どもや老人もお互い助け合う。お祭りを盛大に行えました」と話していました。

地区のみなさんでお祭りを盛りあげていました

CHECK! 動画が見られます!

江名諏訪神社

江名地区の五穀豊穣や安全、繁栄を願い、かじの葉会や地元消防団、消防署員のみなさんなどが本神輿を担ぎました。4月に供用開始となった江名公民館まで渡御し、江名漁港前や安竜トンネル前の交差点では神輿揉みも行われました。

今年からかじの葉会会長が佐藤亮介さんに替わり「みんな一生懸命担ぎ、無事神社まで戻って来て良かったです」と笑顔を見せました。

80段以上ある階段を降りる姿は大迫力

CHECK! 動画が見られます!

復興へ向けた動き

中之作港東防波堤工事進捗状況

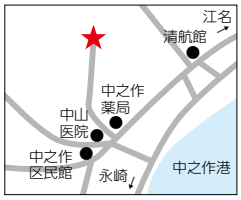
津波で倒壊した中之作港東防波堤。目印の赤い灯台も流されてしまいました。

今年の3月から県が防波堤本体の復旧に着手しており、完成は7月末の予定です。

復旧後は、沖側の沖東防波堤の復旧に着手する予定です。

津波避難場所ガイド

●諏訪神社



●住所／中之作字植作21
●面積／847㎡
●海抜／24.6m

●根渡神社

●住所／折戸字折戸82
●面積／146㎡
●海抜／36.0m

愛称決定「汐風竹町通り」

小名浜港背後地再開発が進められ、港と町の導線となる通りに関心と親しみを持ってもらおうと、小名浜市民会議と市都市計画課が愛称選定審査委員会事務局を立ち上げ、昨年秋に愛称を募集しました。今年2月、多くの応募のなかから、四倉在住の安田敏さんの涼やかな汐風をイメージした「汐風通り」を元に、地区名の「竹町」を加え「汐風竹町通り」に決定しました。

小名浜ピックアップ

和やかに踊りを披露

4月13日、折戸わくわくサロンのみなさんが中之作の〈中山医院〉で踊りを披露しました。メンバーは通所リハビリ利用者とも面識があり「久しぶりだね」との会話が飛び交いました。

フラダンス「マカレナ」を踊る折戸わくわくサロンのみなさん

作って飾ろう、こいのぼり

4月16日、磐城宿舎集会所でこいのぼり作りが行われました。参加したのは近くに住む11名。紙粘土にビーズをつけ土台を作り、折り紙でこいのぼりを作り、可愛らしい作品が出来上がりました。

一つひとつの作業を一緒に行い、完成させました

永崎小学校の避難訓練

5月1日、震度5を観測し、大津波警報と避難指示が出たことを想定した避難訓練が行われました。児童は各クラスごと校庭に集合したのち、高台にある洋光台中央公園に避難しました。

初めて洋光台中央公園まで避難する１年生

町の賑わい創出に取り組む

うえだ商店会の活動

現在、77店舗が加盟している「うえだ商店会」。㈲伊勢屋商店の社長である、鈴木修一郎さんが会長を務めています。

同商店会は、歩行者天国や軽トラ市を行うほか、なこそ夏まつりではいわきおどりにも参加するなど、植田町の活性化に向けてさまざまな取り組みを行っています。

昨夏には市民から名前を募集し、マスコットキャラクターも制作。町のシンボルとしてはもちろん、復興への願いも込められています。

震災により、町内にある店の約30％が全壊および大規模半壊に。半壊も合わせると約57％の店舗が被害を受けました。そのうち25軒は、県の中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業により、建て替えおよび改築を実施。鈴木会長の店も同事業を活用し、震災の翌年にリニューアルしました。

また、双葉町の役場もあることから「地域住民と双葉のみなさんとの交流を深め、共にまちづくりをしていきたい」と鈴木会長は話します。

震災から4年が経ち、変わりつつある商店街の姿。未来を担う子どもたちの笑い声と、人々の活気があふれることを目指し、町を支え続けます。

八幡神社から見た植田の町並み。本町通りとパティオ通りが商店街となります

マスコットキャラクターの「うえっち」と「あゆみん」が描かれたグッズも制作

5月5日 賑わいの声あふれた１日「復興・交流祭　第37回歩行者天国」

植田町本町通りで開催。植田小学校吹奏楽部によるオープニングパレードをスタートにさまざまなイベントが催されたほか、磐城農業高校の「磐農（ばんのう）ストア」や勿来工業高校によるゲームコーナーなども出店され、集まった大勢の人々で賑わいを見せました。

型ぬきや金魚すくいの屋台は、子どもたちに大人気！

ステージでは、バンド演奏や歌謡ショーなどを開催

パトカーや白バイ、消防車の試乗ブースも設置

復興へ向けた動き

「(仮称)こども元気センター」建設について

現在、旧植田児童館跡地で児童館の機能を含めた屋内遊び場の建設が進められています。

2階建ての建物の中には遊戯室や屋内運動場、教養室などが設けられ、また、外の公園についても施設と一体的に利用できるよう、新たに整備される予定。

平成28年4月からの供用開始を目指しています。

国の交付金を使い建設される同施設の完成イメージ図

復興グランドデザインワークショップ

4月23日、植田公民館で行われた「第12回小浜・岩間地区復興グランドデザイン策定に向けたワークショップ」。13名の地区住民が参加し、復興グランドデザイン計画書案について、内容の確認が行われました。

また、先導的、優先的に実施する重点プロジェクトを、避難路の整備や地域住民の絆(つながり)の強化等と決定。「復興まちづくり推進体制の確立」を最重点プロジェクトとしました。

いよいよ最後となった次回のワークショップでは、計画書の最終確認や推進体制について協議される予定です。

防災意識を高める小学校避難訓練

4月30日 勿来第二小学校

地震による津波発生を想定。校庭へ集合したのち、近くのお伊勢山へ避難しました。

1、2年生は5、6年生と手を繋ぎ、駆け足で避難しました

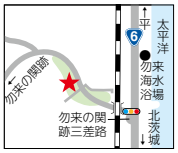
5月1日 錦東小学校

錦幼稚園と合同で実施。津波を想定し3階音楽室へ避難したのち、屋上へ上がりました。

今年1月に柵が取り付けられ、広くなった屋上を確認

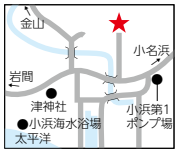
津波避難場所ガイド

●いわき市勿来駐車場



●住所／勿来町九面浜田11-4
●面積／11,620㎡
●海抜／9.1m

●那智神社



●住所／小浜町渚地内
●面積／25㎡
●海抜／38.2m

勿来ピックアップ

復興チャリティー桜ライブ

4月12日、勿来の関公園「吹風殿(すいふうでん)」で開催された、音楽ユニット「花音(はなおと)」のチャリティーライブ。ゲストの恋川純弥さん（舞台役者）や「IBCサクソフォンアンサンブル」の方々との共演も果たしました。

ライブでは津波で被災した豊間中の「奇跡のピアノ」を使用

CHECK! 動画が見られます!

笑顔いっぱいのひととき

4月17日、市社会福祉協議会により関田集会所で行われた演芸会。芸人「めおと楽団ジキジキ」のお2人や、腹話術師のポンちゃん人形さん、マジシャンの荒木巴さんが駆けつけ、会場を賑わせました。

演奏に合わせた愉快な漫談に、笑いと歓声が湧き上がる会場

CHECK! 動画が見られます!

いわき市 ふるさとだより 第48号
平成27年5月20日発行
●発行:いわき市 ●編集:有限会社 いまぁじゅ ふるさとだより編集室
●編集室:〒973-8411 福島県いわき市小島町3丁目3-3 プリンセス・アイ1F
Tel&Fax:0246-26-5157
Mail:furusato@asally.co.jp
http://www.furusatodayori.com

お知らせ 「いわき市防災マップ(改訂版)」が発行されました

市民に、災害に対する危険性を再認識してもらうため、震災後初となる改訂版が作成されました。4月20日から各世帯や学校・事業所などに配布。本庁舎や各支所にも備え付けており、市HPでも閲覧できます。

●改訂された点

・「土砂災害危険個所」のみの表示を、「土砂災害警戒区域」および「土砂災害特別警戒区域」も記載。
・市が独自に実施した津波シミュレーション結果をもとに、「津波浸水想定区域」を掲載。
・地区の災害リスクの検証を踏まえ指定避難所の見直しを実施。

【問い合わせ】
市危機管理課災害対策係　☎0246-22-1242

お知らせ 新舞子ハイツヘルスプール リニューアルオープン

震災により改修工事が行われ、4月19日に再オープンしたヘルスプール。機械や電気設備の交換および、備品などが新たに揃えられたほか、2階サンデッキには子ども向けスペースも整備されました。

藤間・豊間・草野中学校の水泳部員も参加したテープカット

「磐城平城本丸跡地」　無料開園のお知らせ

4月1日から6月30日までの土・日曜、祝日、いわき駅裏にある本丸跡地が無料開園されています。

4月11、12両日には、「さくらまつり」が行われました。旧仮藩庁内では、茶道や書道、華道教室が設けられたほか、「一打の会」による和太鼓演奏や「いわき芸能倶楽部」の花見寄席などのイベントも行われ、会場を賑わせました。

【問い合わせ】平まちなか復興まちづくり計画推進プロジェクトチーム　☎0246-21-1111

展示されている平城の模型を眺め、魅了される来場者

GW期間中には被災地のこいのぼりが飾られました

できごと PICK UP

応急仮設住宅や災害公営住宅ほか市内各地のイベントやできごとを紹介

4月13日 笑顔満開! 春のイベントお花見会

交流スペース「ぶらっと」がスカイストア内に移転して1年。初のお花見会が開催され、市内在住の30名が参加しました。新川沿いの桜並木を散策。その後は全員で近くのレストランで昼食をとりながら、交流を深めました。

桜を眺めながら楽しげに歩くみなさん

5月2日 〈いわきPIT〉の壁面をデザインするワークショップ開催

夏オープン予定の劇場「いわきPIT」。復興活動を精力的に続けているアーティスト日比野克彦さんの指導のもと、外壁デザインのワークショップが平第二小学校で行われました。

ちぎった折り紙を使って、デザインを描きました

各地の復興工事進捗状況

震災復興土地区画整理事業
<久之浜地区　水上工区>
4月23日現在

●面　積　3.0ha
●区画数　64区画
●公園数　1ヵ所
●工　期
敷地造成工および宅地整地工
H26年7月～H28年3月

ふるさと伝言板

将来のライフプランを無料で個別アドバイス!

「生活再建ライフプランセミナー」
◆日時　6月6日(土) 10:00～12:00
◆場所　市文化センター

「住まいと暮らしの再建相談会」
◆日時　6月21日(日) ①10:00 ②13:00 ③15:00(各90分程度)
◆場所　勿来市民会館
◆定員　各時間　9組

※お申し込みは開催日の3日前まで。
【予約・問い合わせ】市ふるさと再生課　☎0246-22-7437

ふるさとだよりの記事が動画でも見られます!

①COCOAR アプリをダウンロード
iPhone/iPad「AppSTORE」から
Android「Google Play」から

②インストール後、アプリを起動するとスキャン画面になります。
③スマホをかざして画像をスキャンします。
④認識するとコンテンツが表示されます。

※画像に光が反射しないようにスキャンしてください!
注)ネット環境によって表示に時間がかかる場合があります。